

つづ 綴られた思い

—戦争を知らない世代に伝えたい体験と記憶—

開催主旨

今年には終戦80年となる節目の年であり、戦争体験を後世に伝えていくことは、ますます重要な課題となりつつあります。1945(昭和20)年8月15日の終戦から長い年月が経過し、戦傷病者やその妻の体験を直接聞くことが難しくなってきました。それでも、戦傷病者が遺していった言葉や体験記から私たちは多くのことを学ぶことができます。

本展では、戦傷病者やその妻の記した体験記から、戦中・戦後の労苦を伝えます。一人ひとりの戦中・戦後の労苦に焦点をあて、体験記のほかに関連する実物資料を展示します。

戦争を体験していない世代から、その先の世代へ。戦傷病者とそのご家族が遺してくれたものを、私たちが知り、そして次の世代へとつないでいくことの大切さについて考えてみませんか。

主催	しょうけい館(戦傷病者史料館)
会期	令和7年3月4日(火)~6月1日(日)
会場	しょうけい館 2階企画展示室
入館料	無料
開館時間	10:00~17:30(入館は17:00まで)
休館日	毎週月曜日・5月7日(水) ※5月5日(月)は開館
問い合わせ先	しょうけい館 TEL:03-3234-7821 担当:半戸 取材を希望される際は事前に連絡をお願いします。

※無断転載禁止

展示構成

展示 I. 戦傷病者とその妻が記した体験記

戦傷病者が記した体験記を展示し、一人ひとりの戦中・戦後の労苦を紹介します。体験記のほか、ご本人の実物資料や写真など寄贈資料も展示します。



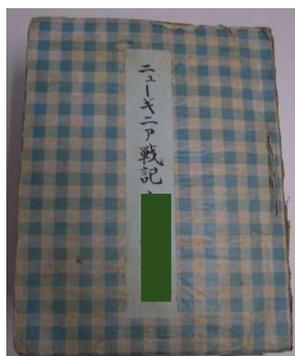
「青春に白衣」

この体験記は、1938年に中国での戦闘で左腕と肘を負傷した方のものです。徴兵時の心情、戦地で炎天下の行軍、不衛生な環境の中での軍隊生活で弾丸に当たらずとも命を落とす戦友がいたこと、受傷、そしてその後を生きぬいてきたことが記されています。



「思い出の記」

この体験記は、1942年に空挺要員選抜の身体検査を受けた後の待機中、空爆にあい、右足を負傷した方のものです。将校として戦地に赴任し、戦地で過ごした一年半の体験、受傷しなければどういふ運命を辿ったのかに思いを巡らせていたことが記されています。



「ニューギニア戦記」

この体験記は、1942年に、ニューギニアのジャングルの中で連合軍の攻撃にあい、右足を負傷した方のものです。戦闘体験と受傷時の詳細が克明に記されているほか、現地の人に親切にしてもらったことや戦友とのエピソードなどもあり、厚さ10センチにもなる大作です。



「乙女戦記」

この体験記は、1945年の沖繩戦で受傷した当時18歳の少女だった方が記したものです。戦争によって片手を失ってしまい、生きる気力も失せてしまうほど辛く悲しい日々を過ごしてきました。そんな中でも前を向き、懸命に生きようとしたことがうかがえる体験記です。



「大事な私の覚え書」

この体験記は、1939年ノモンハン事件で左眼を失明してしまった方のものです。戦後、世の中が安定していく中で、戦争体験を語ることをおそれず、忘れてはいけない、戦争を知らない世代に伝えなくてはならないという思いで、体験記を3冊まとめました。

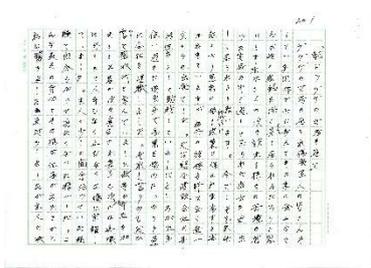


「シベリア珪肺 ソ連抑留の後遺症」

この体験記は、1965年にシベリア抑留中の鉱山労働が原因で珪肺を発症してしまった方のものです。闘病生活の中で、同じ病気で苦しむ患者のためにと、療養生活の送り方や恩給請求の手助けとなる情報も多く記しています。

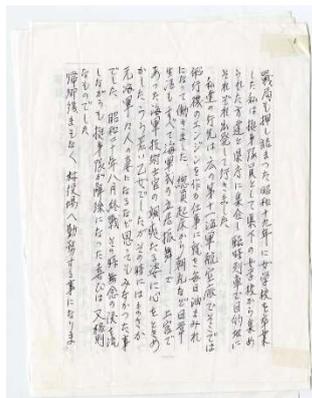
「朝ドラゲゲの女房を見て」

この体験記は、1946年に戦傷病者と結婚した妻の体験記です。夫は1945年に右足切断するという大きな障がいを抱えていました。自営業の夫を支えるために、ともに懸命に働き、経済的な苦難も多く経験しました。「ゲゲの女房」を観た時に、同じ戦傷病者の妻としての思いを記すために筆をとりました。



「傷痕の夫と歩んだ五十余年」

この体験記は、1947年に戦傷病者と結婚した妻の体験記です。夫は1944年に負傷し、戦後も大きな手術を経験していました。夫を支えながら、家族の介護、子育てなど家のことを一手に担っていた妻は、誰かに聞いて欲しかった胸のうちを振り返っています。

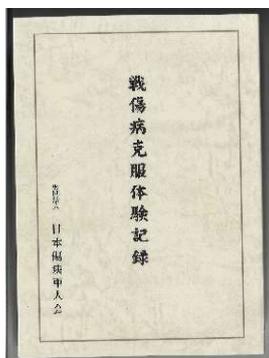


展示Ⅱ.団体のまとめた体験記

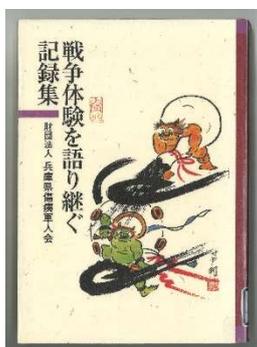
展示Ⅱでは、団体がまとめた体験記を紹介します。

日本傷痍軍人会や日本傷痍軍人妻の会など、戦傷病者の団体が、自分たちの体験を伝えようと会員に呼び掛けてまとめられた体験記も多くあります。個人でまとめた体験記よりも文章は短い傾向にありますが、特に残しておきたかった体験と思いが記されています。

これらの体験記を、しょうけい館で読む方法も合わせて紹介します。



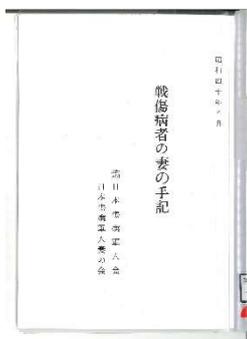
『戦傷病克服体験記録』



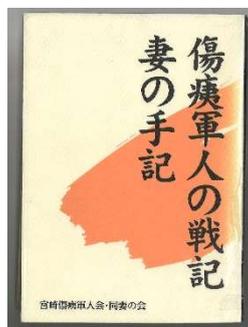
『戦争体験を語り継ぐ記録集』



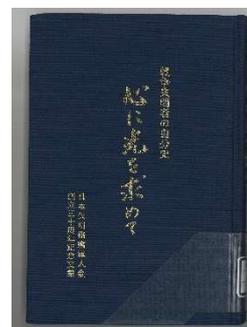
『二人三脚 傷痕の夫とともに』



『戦傷病者の妻の手記』



『傷痍軍人の戦記 妻の手記』



『心に光を求めて』

映像上映

内容:企画展に関連する映像を上映します。

場所:しょうけい館 2階シアター

※団体プログラム等によって、上映内容を変更・休止する場合があります

	映像タイトル	時間
10:00 } 11:00	体験記をまとめて知った父の想い★	22分
	負傷した者同士で支え合った半世紀	26分
	療養所は大きな家族～支えあい、助けあい～	10分
11:00 } 12:00	母に支えられて★	31分
	シベリア珪肺を抱えながら	18分
	二人で一人、傷痍軍人の妻として	10分
12:00 } 13:00	体験記をまとめて知った父の想い★	22分
	負傷した者同士で支え合った半世紀	26分
	療養所は大きな家族～支えあい、助けあい～	10分
13:00 } 14:00	母に支えられて★	31分
	シベリア珪肺の苦しみ	18分
	二人で一人、傷痍軍人の妻として	10分
14:00 } 15:00	体験記をまとめて知った父の想い★	22分
	負傷した者同士で支え合った半世紀	26分
	療養所は大きな家族～支えあい、助けあい～	10分
15:00 } 16:00	母に支えられて★	31分
	シベリア珪肺を抱えながら	18分
	二人で一人、傷痍軍人の妻として	10分
16:00 } 17:00	体験記をまとめて知った父の想い★	22分
	負傷した者同士で支え合った半世紀	26分
	療養所は大きな家族～支えあい、助けあい～	10分

・★のついた証言者の寄贈資料は、本企画展で展示します。

・各証言映像は上映時間以外でも、情報検索端末で視聴できます。